

## 「人はなぜ賭けごとをするのか」

拝復 二週間のご無沙汰でした。ここ二、三日はいくらかましようですが、暑い。さすがに

今年は熊谷市が負けていますね(笑) →



40度超えはまだ聞かないようですが、伊勢崎市は39度5分。体温だったら倒れていますね。気象庁の長期予報によれば残暑も厳しい見通しとの事。季節が季節らしくあることは非常にいいことだと思うのですが、酷暑はつらい。もし地球の温暖化の結果であるとするならば、北海道に移住を考えたくくなります。

もうひとつの大きなトピックスはとうとうテレビ中継がないまま「大相撲」夏場所が終了したことでしょう。白鳳は無敵の全勝優勝、連勝記録では大鵬を抜き、双葉山・千代の富士の記録に迫ろうとしています。本来であればマスコミが大騒ぎ、なのでしょうが、今回はおとなしい限り。



←私は朝青龍に対する差別とも言うべき協会の対応を見て大相撲を見限りました。

やはり、野球賭博をはじめとする一連の角界の不幸事が大きく影響しました。狭い、非常に特殊な世界であることも影響していると思います。私の自宅のすぐそばに鳴門部屋があります。近くのコンビニなどでよく関取の卵さんたちを見ることがあります。やっぱり独特の存在感ですね。大きな体に鬢付け油の香り。顔を見れば幼い。

それにしても賭博は世の中から無くなったためしがありません。日本では刑法 185 条「賭博をした者は 50 万円以下の罰金または科料に処する」。つまり国が「賭博」を禁止しているのです。私生活での些細な賭けは見逃してくれるようですが、なぜ、禁止されている賭博を国や地方自治体に許されているのでしょうか。理由はひとつ、とても簡単な仕組みで「税金」をくみ上げることが出来るからです。さらに天下りの確保も。

いきなり結論から入りますが「賭博に必勝法はなく、またよほどの偶然を除けばギャンブルで勝ち続けることはありえない」ということです。身もふたもないのですが、事実です。証拠として古来賭博の胴元がつぶれることが滅多にありません。公営ギャンブル(競

馬、競輪、競艇)などで長期間にわたって勝利し続けることは極めてまれです。

理由はひとつです。主催者(胴元)が「寺(テラ)」銭を取っているからです。主なギャンブルの控除率(寺銭)を列举します。

日本の宝くじ	50%	ラスベガスのルーレット	3%
日本の公営ギャンブル	25%	パチンコ	5%
ラスベガスのカジノ	5%	投資信託	5%

ずいぶんと大きな差がありますね。元ヤクザで現小説家である安部譲二さんは「ヤクザが賭場を開帳しようとする時、寺銭を取る。寺銭が1割を超えると賭博開帳の罪ではなくなる。詐欺罪になるんです。そしてこの方が罪が重いんです。1割寺銭を取るとお客は絶対に勝てない。だから詐欺にあたるそうです」。日本の宝くじ、公営ギャンブルはひどいですね。特に「宝くじ」。テレビでバンバンCMを打って夢の生活をアピールしています。1ユニットを全部買い占めたとします。それにかかる費用は30億円。返って来るお金は15億円。絶対にこの金額より大きくはならないのです。絶対に損をするのです。



←まだ行ったことがないんです。どうしてもビーチリゾートが優先します

ラスベガスに旅行に行ったらとしましょう。胴元の取り分は5%ですから、還元率は95%。仮に100万円を軍資金にしてスロットマシンをやってみましょう。10回目にはわずか56万円しか手元に無くなります。「100万円×0.95のn乗」どれだけ繰り返しても無駄です。さらに10回かけたら34万円しか残りません。一回、一回の寺銭が安いようでも、繰り返せば確実に負けるのです。ルーレットは数字を当てるゲームですが「0」と「00」は親の総取りとなります。この時点ですでに負けが決定しています。その証拠にラスベガスのカジノが倒産したというニュースは聞いたことはありません。

ましてや日本の宝くじ。ほとんどの人はこれほどひどいとは思っていないでしょう。あれほどみんなが嫌がる、税金そのものです。所得税が50%って言ったら怒りますよね。それと同じことをやっているのが宝くじです。公営ギャンブルも似たようなもんです。10%の寺銭で勝てないのに25%もとられたら絶対に勝ち続けることは不可能です。予想が的中するので著名なスポーツ新聞の記者がいたそうです。彼の予想通り3年間かけたとしてシミュレーションをしたら、金額はきっちり75%になっていたそうです。(アホラジ)

公営ギャンブルはまだ「予想」をするという楽しみがあります。「25%分でその楽しみを買っているんだ」とすれば何も申し上げることはありません。どんどんやって国庫にお金を積んでください。

「宝くじ」どう考えても間尺に合わないのです。ましてや有楽町の「ラッキーセンター」に何

時間も並ぶことなど全くのナンセンスです。大阪商業大学の学長をされている谷岡一郎先生という方がいらっしゃいます。専攻は「ギャンブル社会学」。谷岡教授は宝くじを買う「世代」「配偶者の有無」「持ち家の有無」「収入」「地位」「学歴」等のデータを大量に集め重回帰分析を行いました。結論、「人々はひとつ上のステイタスを求めることを動機として宝くじを買う」「そして、そうした機会がブロックされてしまっている人々が最後の頼みの綱として賞金額の大きな宝くじに賭ける」「人生に希望が持てない人、社会的階層が今の不満足なレベルのままで固定されてしまう予感した人々が未来をかき乱すための「異常」を求めて宝くじを買う」のです(T\_T)。

わずか 50%しか帰ってこない「宝くじ」。にもかかわらず人気が高いのは**この社会的階層を変える力が、他の手段で代替できない**からです。であるとすると「宝くじ」はもっと残酷な一面を持ちます。社会階層が低い人たちがいわば「税金」を払っているということは消費税と同じ逆累進制を持つということになるからです。

このように還元率が低く、その結果になんらの関与も出来ないギャンブルにもかかわらず「宝くじ」は買われ続けます。全く意味がないのにもかかわらず「チャンスセンター」に並ぶことと「当選をする」ことを結び付けてしまっています。二つの事象になんらの関連性もありません。ただ時間軸が「**購入**」→「**抽選**」と同じであることだけです。

ただし、「宝くじ」は夢を見る時間が長い、という特性があります。たとえばパチンコなどは還元率 95%と非常に高いのですが、問題はゲームに要する時間が非常に短い。一個の玉が放たれてから結果を出すまでに 5 秒とかかりません。10000 円で始めます。最初の一プレーで残る金額は 9990 円です。ところが一個の玉だけでパチンコを止める人はいません。一時間後の持ち金は 4900 円。なんと「宝くじ」と同じになりました。購入してから当選が決まるまで約一ヶ月

この俳優さんも罪深いなあー



間。これを称して「夢を買う」と胴元は CM を使い煽ります。きわめて詐欺に近い国家犯罪であると思います。

このようにおよそ勝てない賭博に人間はなぜ、はまってしまうのでしょうか。繰り返しますが経済的な合理性は全くありません。本当にゼロです。それでいて人間は賭けることを止めない。

- 1、 スリルと興奮 リスクは興奮を呼びます。日常生活の単調さや退屈を覚醒させる
- 2、 気分転換 非日常的な場所で普段は味わえないムードで (ラスベガス)
- 3、 子供の気分に戻る ギャンブルに熱中しているときの脳波は子供そのものだそうです
- 4、 認識の甘さ 「俺は勝てる」(笑) 笑っちゃいますよね。
- 5、 次は勝てると思う 賭博はいつやっても同じ確率です

行動経済学で言う「合理的経済人」とは反対側の「非合理的な人間」がそこにはいるのです。賭けは古來どの文明下でも必ず存在しています。つまり、合理性はないのですが、生活を楽しくするための文化だ、と考えると少し納得がいきますね。しかし、その結果としての「依存症」「借金」「犯罪」「反社会集団」がリンクするのであればやはり悲しい。

私？博才がないので、一切やりません。ゴルフのちょっとしたかけには参加をしますが、楽しめません。へたっぴだからです（笑）。ゴルフやマージャンのような自分の腕が関係してく

私は映画版が大好きですが、ギャンブラーってこうあって欲しいです^^



るギャンブルは少し事情が変わります。明らかに強い人が勝つのです。ただこの場合でも胴元がいたら、長期的には（統計学では大数とよびます）勝てなくなります。

考えてみればギャンブルに限らず、人生は毎日が「賭け」の連続であるということが出来ます。「どの大学に入るか」「どの会社に入るか」「誰と結婚するか」「家を買うのか」「投資をするのか」「子供の学校は」「老後はどう過ごすのか」選択の連続であるといえます。投資信託も 5%の寺銭を取られたギャンブルと全く同じです。儲からない理由がお分かりいただけたと思います。

「生きるとは、狂気のように、だが、回帰することなく、賽を投げ続けることだ」（バタイユ）

さて今回の NL はいかがでしたか。ギャンブルがお好きな方がいれば、ご不快な思いをされたかもしれません。しかし、夢とチャレンジなく生きるのが人生だとすれば少し悲しい。私？嫁選びには成功したようです^^;。これが人生で一番大きな賭けですよ。

さて、今回は夏休みをいただきますので 9 月上旬。猛暑が収まってきているといいのですが。お題は今回に引き続き「ギャンブル」。その経済規模やアングラマネーの構造を解き明かし、

富裕層からあぶく銭を引っ張り出しましょう（笑）



日本経済の復興に寄与するカジノ構想を検証します。

暑い日が続きますが、皆様御身大事に。スポーツドリンクの 1/2 稀釈がいいそうです。

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>